

新年度に向けての あいさつ

北見赤十字病院院長

吉田 茂夫



常日頃から当院に對しまして、ご協力・ご理解をいただいておりますことを厚くお礼申し上げます。

今冬は、寒く雪の多い年でしたが、4月に入り少しずつ春の兆しを感じるようになってきました。そうした中、4月2日には多くの新入職員・医師・研修医などを迎えて、当院におきましても新しい年度がスタートしたところです。

東日本大震災後の復旧・復興と福島原発対応が我々の思いとは異なっており、なかなか進んでいないことが国民にとって心のわだかまりになっているように思います。改めて一日も早い復旧・復興が行なわれますことを祈念しております。

さて新病院につきましては、ご承知のように北見市、北見市議会、管内自治体などの多くの関係者のご努力・ご理解によりまして、市役所跡地の貸与と建設費用への補助をしていただくこ

ととなり、間もなく建設が始められようとしております。皆様には改めて深く感謝申し上げます。

新病院は現在の診療機能の充実に加えてP E T - C T、ヘリポート等の新たな施設の設置、手術室は8室から10室に増え、患者さんの救急、手術、ICUなどへの搬入時の導線が短く、安全、スピーディーに対応ができるようになります。また病室が現在の6床室中心の病棟体制から、個室、2床室と4床室になることも広くなりますので、全ての病室が車椅子の患者さんへの対応が可能になるなど、入院患者さんのアメニティが格段と良くなります。また地域の医療機関や福祉施設との連携のためのコンピュータシステムも充実しますので連携が更に一層進むものと思っております。将来地域の多くの方々に今般の北見市や管内自治体の決定を「本当に良かった」と喜んでいただけるよう、職員一同で良い病院作りに取り組んでいきますので、今後ともご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

がん診療連携拠点病院

講演会スケジュール

度々、ほっと連携に登場しております、がん診療連携拠点病院としての取り組みを今回もご紹介させていただきます。
本年も拠点病院としての役割としてはもちろん、地域医療従事者の皆様への最新の情報提供、スキルアップを目的とした研修会や勉強会の開催、地域住民に向けた公開講座の開催などを計画しております。
お時間の許す限り参加・聴講頂き今後のご活躍に役立てていただければと思います。

第10回 化学療法勉強会『がん患者の感染症診療』

講師：国立国際医療研究センター 国際疾病センター副センター長
感染症内科科長 大曲 貴夫(おおまがり のりお)先生
日時：平成24年5月25日(金) 18:30～1時間30分程度の予定
会場：北見赤十字病院 東館4階 大講堂

*がん患者様だけではなく、病気になる免疫が落ちいろいろな感染症にかかります。
そんな時の診断、治療など 感染症内科の第1人者である大曲先生にお話していただきます。

第4回 北見赤十字病院 がん診療に携わる医師のための 緩和ケア研修会

日時：平成24年6月16日(土) 10:00～18:10
平成24年6月17日(日) 9:00～16:10
会場：北見赤十字病院 東館4階 大講堂

*平成22年の診療報酬改定から名前が出てきた研修会です。この研修会を終了した医師がいる病院はがん患者様に麻薬を処方した場合1ヶ月に1回100点が算定できることになりました。
今回24年度の改正では、この研修会を受けた医師が処方すると200点というプラス改訂もありました。点数算定もさることながら、診療にとても役立つ研修会といえます。是非ご参加下さい。

市民公開講座

『P E T - C T について(仮)』

講師：北海道大学病院 核医学診療科 教授 玉木 長良先生

『当院での化学療法治療の現状(仮)』

講師：当院 消化器内科副部長 岩永 一郎医師

日時：平成24年9月23日(日) 13:00(予定)

*新病院建築とともに当院にP E T - C T が導入されます。現在、旭川や札幌まで診断を受けに行っていたためです。そんな当院の現状での問題点や今後P E T - C T が導入されてどのようなことが出来るようになるのか、どんなメリットがあるのか、北大の玉木教授にお話頂きます。

当院の岩永医師には化学療法治療についてのお話いただく予定です。市民向けではございますが、皆様にご聴講いただければ幸いです。

*詳細調整中

各開催ごとに、詳細をFAX、郵送。またホームページでのお知らせもさせていただきます。
ご一読頂き是非ご参加いただければ幸いです。(がん対策推進室)

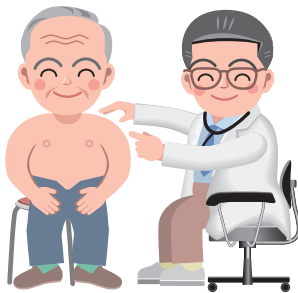
■工藤院長先生より

診療科：内科・外科・消化器内科・麻酔科



《自院紹介》

当院は昭和37年に私の父が外科の有床診療所として開業しました。平成6年に私が継承し、消化器の診療を中心に内科、外科の診療所として再スタートをきっています。医師は私と妻の2名です。私は消化器と小手術を、妻は生活習慣病等の総合内科を主に診療しています。当院の特徴は検診の精検等のスクリーニングとして上部、下部内視鏡検査を受けに来られる患者さんが多いことです。内視鏡検査は自分自身が被検者になってみるとたしかに辛いものです。一般の方たちにとっては恐ろしい辛いというイメージが強く、なかなか受診できない方も多くいらっしゃると思います。当院では苦痛の少ない検査をめざしています。多くの方に検査を受けていただき消化管の癌の早期発見に少しでも役立てればと考えています。内視鏡検査を胸部X線検査を受ける感覚で来院していただけるように、これからも努力していきたいと思っています。



工藤医院



〒092-0061

美幌町字西1条北4丁目5番地

TEL (0152) 73-3356

院長：工藤 康生

出身大学：北里大学

所属学会：外科学会・消化器外科学会・
消化器病学会

専門分野：消化器

〈診療時間のご案内〉

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後2:00~5:30	○	○	×	○	○	○	×

登録医紹介

■酒井院長先生質問コーナー

診療科：内科・呼吸器内科・リウマチ科

趣味は何ですか？

—— マージャン

座右の銘は何ですか？

—— simple is best

これだけは譲れない「こだわり」ってありますか？

—— 患者には、お金をもらっただけのことは、してあげたい。



《自院紹介》

昭和62年から、平成14年まで北見赤十字病院内科に勤務し、主にリウマチ膠原病、呼吸器疾患を診察していました。平成14年11月に開業し、あっという間に10年になろうとしています。日赤の先生には、いつも大変な患者、判断に迷った患者を御紹介しお世話になっており感謝しています。平成20年には一時内科が閉鎖され当院としても大変困っていましたが、吉田院長先生の御尽力で徐々に体制が整ってきているようです。今後もお世話になることばかりですが、よろしく願います。



酒井内科クリニック



〒090-0051

北見市高栄東町4丁目1-11

TEL (0157) 32-7536

院長：酒井 勲

出身大学：北海道大学医学部

(昭和57年卒)

出身地：愛媛県 松山市

所属学会：日本内科学会・日本リウマチ
資格 学会・リウマチ登録医

専門分野：リウマチ・膠原病・呼吸器

〈診療時間のご案内〉

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9:00~12:00	○	○	9:00 12:30	○	○	9:00 12:30	×
午後2:00~6:00	○	○	×	○	○	×	×

眼科外来紹介

眼科部長 菅原亮一



眼科は、昭和10年当院の開院と同時に開設されました。主任医師として、初代の高岸喜久雄先生から服部恭子先生、近藤文子先生へと引き継がれ、途中、昭和34年から休診、昭和35年からの札幌医大眼科による隔週毎週1日診療を経て、昭和37年から中尾常吉先生が務められた後、昭和39年からしばらくの間休診となっておりましたが、昭和56年から旭川医大からの医師派遣で再開となり、古暮弘之先生、奈良諭先生、古川英樹先生、大野（寺井）高子先生、小笠原博宣先生、坂上晃一先生、引地泰一先生、野見山豪先生、横山哲朗先生へと引き継がれ、平成6年12月から20年3月まで野見山豪先生が長きにわたって診療部長を務められた後、平成21年3月から佐藤栄一先生、平成21年4月から私が引き継がせていただいております。

現在、常勤医師3名、嘱託医師1名、視能訓練士5名、看護師4名、更に毎月定期的に旭川医科大学眼科より廣川博之教授、籠川浩幸准教授、木ノ内玲子講師、のみやま眼科より野見山豪先生に来ていただいで、オホーツク圏の眼科医療の基幹病院として診療を行っております。外来診療は、月曜と金曜は午前と午後、火曜と木曜は午前のみの受付となっておりますが、緊急対応を要する患者さんについては時間外でも柔軟に対応させていただいております。当科は、一般的な疾患から高度な医療技術を要する疾患まで、幅広い眼科疾患に対応可能で、特に早期の対応が必要とされる網膜硝子体疾患に対しても緊急手術に対応できます。近年、特に硝子体手術は手術機器の進歩がめざましく、より小切開で低侵襲な手術が可能となってきました。当科でも積極的に取り組んでおります。病棟においても、全身合併症を持った患者さんにも柔軟に対応し、最善の治療が可能な環境を作っております。ここ最近（平成22年4月～平成23年3月）の1日平均の外来患者数は113人、入院患者数は17人（定床14）、年間手術件数は979件（白内障手術746件、硝子体手術149件、網膜剥離手術23件、緑内障手術19件、その他42件）です。

近年増加の一途をたどっている加齢黄斑変性症（AMD）の治療にも積極的に取り組んでおります。この疾患は、欧米では成人の中途失明の主要な原因となっており、日本においても近年急激な高齢者人口の増加や生活習慣の欧米化などに伴い患者数が増加しており、緑内障、糖尿病網膜症、

網膜色素変性症について第4位の失明原因となっております。数年前までは、正確な診断や有効な治療ができない症例が多かったのですが、近年、光干渉断層計（OCT）による診断の進歩、光線力学的療法（PDT）、抗血管新生薬療法などの新しい治療法の登場で、病状の進行を止めたり、視力を改善させたりすることが可能となってきました。特に抗血管新生薬療法の効果は絶大で、画期的な治療となっております。この治療は、血管内皮増殖因子（VEGF）の作用を抑制する薬剤を硝子体内に直接注射するものです。最初は1ヶ月おきに連続3回投与し、その後は1ヶ月ごとに外来診察し病状に応じて1回ずつ追加することになります。入院は必要なく短時間で施行できますが、薬剤が高価で1回の注射あたり負担金額が3割負担で6万円、1割負担で2万円と大きく、かつ再発しやすい疾患であるため中には毎月のように注射を繰り返さなければならぬ場合もあり、患者さんの負担が非常に大きくなってしまっている点です。この治療の適応となる患者さんが累積するのに伴い、外来診療のボリュームが増加してきているため、今後この治療をいかに効率的に行っていくかが大きな課題となっております。

日頃、眼科医の先生方からは勿論のこと、北見市内およびオホーツク全域の医療機関の先生方から様々なご紹介いただいておりますが、今後、更に質の高い対応ができるよう、また、患者さんに関する情報交換がスムーズに行えるようにより一層努力していきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



医療安全推進室紹介

医療安全推進室副室長兼専任リスクマネージャー
砂野敬子

当院の医療安全推進室は室長（荒川副院長）をはじめとして、医療安全管理者・感染症看護専門看護師、感染管理認定看護師、専従事務職員で構成する5名で活動しています。

医療安全の主軸となる「インシデントレポート」は平成22年度よりWebを利用した電子情報による報告となり、年間件数は2000件を上回ることとなりました。医療安全に関する施策也多岐にわたっています。去る2月29日には「北見地方医療安全支援センター」主催による医療安全研修会において「北見赤十字病院の医療安全に関する取り組みについて」と題し、実際の院内における活動を紹介させていただきました。非常に多くの地域の医療施設の方々に参加いただきありがとうございました。地域の医療安全推進の為の一助とれば幸いです。

感染症対策については今年度診療報酬改訂に伴い、感染対策を基点

とした施設間交流、カンファレンスの開催、施設間ラウンドなどの施策について検討し、原案作成や調整作業に奔走中であります。新しい取り組みですので地域の皆様のご支援を頂きながら、感染対策を中心に交流を深めていきたいと考えています。



砂野 小笠原 荒川 松澤

平成24年度オホーツクがん看護研修会のご案内

●開催予定表

	日程	時間	内 容	講 師
第1回	平成24年6月1日(金)	17:30～20:00	「がん患者と社会・がん医療と看護倫理」	北見赤十字病院 医療社会事業部 がん相談支援係長 堀 健太郎
				北見赤十字病院 看護部 乳がん看護認定看護師 田邑 泰子
第2回	平成24年8月24日(金)	17:30～20:00	「がん治療に伴う主な副作用、合併症に対する適切な看護援助：三大治療概論」	北見赤十字病院 看護部 がん化学療法認定看護師 横濱 菜々
				北見赤十字病院 看護部 乳がん看護認定看護師 田邑 泰子
第3回	平成24年9月28日(金)	17:30～20:00	「がん化学療法看護」	北見赤十字病院 看護部 がん化学療法認定看護師 渡 明美
第4回	平成24年11月16日(金)	17:30～20:00	「がんと薬理」「がん性疼痛マネジメント」	北見赤十字病院 薬剤部 製剤課長 堀 大
				北見赤十字病院 看護部 がん性疼痛看護認定看護師 赤川 舞子
第5回	平成24年12月7日(金)	17:30～20:00	「症状マネジメント(がん性疼痛以外)とエンド・オブ・ライフケア」	北見赤十字病院 看護部 看護師長 緩和ケア認定看護師 安藤 恵美
第6回	平成25年1月25日(金)	17:30～20:00	「がん患者とコミュニケーション」	北見赤十字病院 看護部 看護師長 がん看護専門看護師 部川 玲子
第7回	平成25年2月21日(木)	17:30～20:00	「がん患者の喪失と危機」	北見赤十字病院 看護部 看護師長 がん看護専門看護師 部川 玲子

認知症疾患医療センターの指定について

当院は、平成24年4月1日より認知症疾患医療センター（地域型）の指定を受けることになりました。地域の保健・医療・福祉・介護等の関係機関と連携を図り、認知症疾患に関する鑑別診断・治療方針の選定、専門医療相談、保健医療・介護関係者への研修など、以下に記載した事業を行って参りますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

■専門医療相談（電話・来院相談）

ご本人・ご家族から認知症に関して今、お困りになっていることについてご相談をお伺いします。相談は精神保健福祉士がお受けいたしますので、まずはお電話をお願いします。

■鑑別診断と治療方針の選定

鑑別診断に必要な検査を行い、専門医の診察の上、鑑別診断を致します。その結果をご本人やご家族、かかりつけ医の先生にご報告するとともに、今後の治療方針について検討いたします。

■合併症・周辺症状の急性期対応

合併症・周辺症状の初期診断、急性期の治療を必要とする認知症の方につきましては必要に応じて専門医療機関をご紹介します。

■保健医療・福祉・介護との連携

保健医療福祉サービス、在宅サービス、介護保険施設等の連絡調整、利用についての支援を致します。

■研修会・連絡協議会の開催

年1～2回、医療・保健・福祉・介護に関する研修会を企画いたします。また、関係機関との認知症疾患医療連携協議会を定期的に開催いたします。

↑電話相談の利用方法

■相談日：月曜日から金曜日（祝祭日は除く）

■受付時間：8時30分から16時00分

■相談場所：認知症疾患医療センター

（東館5階 医療相談室内）

■電話番号：0157-24-3115（内線1510）

↑受診予約

■ご本人・ご家族様

・かかりつけ医のいない方

かかりつけ医がいない場合、紹介状がなくても診療を行っています。事前に認知症疾患医療センターに受診相談のお電話をお願いします。受診日などを相談いたします。

・かかりつけ医のある方

かかりつけ医のある方は、紹介状をお願いしています。かかりつけ医から当院の地域医療連携室に予約していただくご予約外来になりますのでご利用ください。

■医療機関様

神経精神科の外来診療の中で、火・木曜日の午前中に「もの忘れ外来」の予約を受け付けております。確定診断等でご紹介いただければと思います。

神経精神科宛に依頼書（診療情報提供書）を作成していただき、診療予約用紙・保険情報記入用紙（FAX用）と共に、地域医療連携室にFAXして下さい（※保険証・公費医療証のコピーを併せてFAXしていただいた場合は、保険情報の記入は不要です）。

▶予約専用FAXフリーダイヤル0120-018-599

↑スタッフ

専任専門医

専任精神保健福祉士

専任精神保健福祉士

専任臨床心理士

第一神経精神科部長

医療福祉課長

医療社会事業司

臨床心理係長

嶋田進一郎

林 浩幸

伊藤 智美

澤田 和美

+ “世界赤十字デー”
周知キャンペーンイベント

赤十字フェスタ 2012 in 北見

平成24年5月12日(土)

10:00～13:00

イオン北見店 1階駐車場



皆様のお越しを
お待ちしております。

オホーツク医療環境研究講座・研究室 市民公開講座を開催いたしました

平成24年3月4日（日）、北見赤十字病院 大講堂を会場に札幌医科大学 救急・集中治療医学講座 准教授 成松英智先生をお招きし、「中毒の救急」をテーマに市民公開講座を開催いたしました。

成松准教授は化粧品の誤飲等で発症する中毒について説明したほか、「乳幼児の誤飲で一番多いたばこは、水に有毒物質が溶けやすく水に溶けてしまうと体内への吸収が早まるため慌てて水を飲ませては逆効果になる」などと家庭で起こり得る急性中毒の説明やその対処法について、講演されました。また、「病院に搬送される前の対応が患者の生死やその後の社会復帰に関わる」と、できる限りの搬送前の処置が望ましいということもお話されました。



講師：札幌医科大学 救急・集中治療医学講座
成松 英智 准教授



成松准教授が中毒の対処法などについて紹介した公開講座

オホーツク医療環境研究講座・研究室では市民公開講座の他、院外の方が参加できる看護、リハビリテーション部門の研修会や勉強会も開催しております。平成23年度にも多数の勉強会等を開催しております。

平成23年度に開催した研修会、勉強会を一部下記にご紹介いたします。詳しくは、オホーツク医療環境研究講座・研究室のホームページをご覧ください。

今後とも、皆様のご協力を賜りながら地域医療再生へ向けさらに努めてまいります。ご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

看護部門

平成24年3月2日（金）

第4回精神看護勉強会

講 師：札幌医科大学 看護学第三講座

准教授 澤 田 いずみ 先生

テーマ：「前向き子育てプログラム～何とかしたい親のイライラ、こどものイヤイヤ」

リハビリテーション部門

平成24年2月18日（土）・19日（日）

中枢神経疾患のリハビリテーション研修会

講 師：森之宮病院 理学療法士 日 浦 伸 裕 先生

テーマ：「LocomotionとReaching～Ver. 2」

オホーツク医療環境研究講座・研究室 ホームページ
URL：http://www.medical.okhotsk.or.jp/

平成24年度内科系3診療科オープンカンファレンス

●開催予定日表

	開催予定日	時 間	担当診療科	
第1回	平成24年4月19日（木）	午後18時30分	消化器内科	内科・総合診療科
第2回	平成24年5月17日（木）	午後18時30分	内科・総合診療科	循環器内科
第3回	平成24年6月21日（木）	午後18時30分	内科・総合診療科	消化器内科
第4回	平成24年7月19日（木）	午後18時30分	内科・総合診療科	オホーツク医療環境研究講座
第5回	平成24年9月20日（木）	午後18時30分	循環器内科	内科・総合診療科
第6回	平成24年10月18日（木）	午後18時30分	消化器内科	内科・総合診療科
第7回	平成24年11月15日（木）	午後18時30分	内科・総合診療科	循環器内科
第8回	平成25年2月21日（木）	午後18時30分	内科・総合診療科	オホーツク医療環境研究講座

場 所 北見赤十字病院 東館4階 大講堂A



緩和ケア内科部長
後 明 郁 男



消化器内科医師
久 保 公 利



消化器内科医師
佐 藤 史 幸



循環器内科医師
白 川 亮 介



第二小児科部長
戸 板 成 昭



小児科医師
阿 部 二 郎



小児科医師
山 口 健 史



小児科医師
藤 本 夕 季



外科医師
本 谷 康 二



産婦人科医師
幅 田 周 太 朗



産婦人科医師
西 澤 庸 子



眼科副部長
岩 崎 将 典



眼科医師
阿 部 千 尋



頭頸部・耳鼻咽喉科医師
吉 田 沙 絵 子



麻酔科医師
川 島 如 仙



麻酔科医師
赤 塚 正 幸



臨床研修医
小 田 原 裕 子



臨床研修医
千 田 雄 太 郎



臨床研修医
滝 新 悠 之 介



臨床研修医
小 田 陽 一 郎



臨床研修医
小 森 山 弘 和



臨床研修医
今 福 恵 輔



臨床研修医
杉 本 明 彦



臨床研修医
新 井 洋 輔

―新しい医師を紹介します―
 （平成24年4月）

冠動脈CTにおけるコアベータの使用について

1. はじめに

狭心症や心筋梗塞等の虚血性疾患の原因である冠動脈の狭窄や閉塞の診断法として、カテーテルによる冠動脈造影検査（Coronary Angiography 以下、CAG）が汎用されています。CTAIは有用な検査法ですが、動脈を穿刺しカテーテルを末梢の血管から心臓まで挿入して行うため侵襲的で通常は入院を必要とします。

一方、近年になって、Multislice Computed Tomography (MSCT) による冠動脈造影検査（以下、冠動脈CT）が急速に普及し、当院でも平成21年7月から冠動脈CTを行い、平成24年3月現在で400症例を超えています。冠動脈CTは、非侵襲的にCAGに近似的な形態情報が得られ、安全に施行可能で、CAGに比較して患者の費用負担も少ないことが特徴です。さらに、陰性的中率が高いことから、検査目的のCAGの施行頻度を減少させることが期待されています。

冠動脈CTは心拍動によりモーションアーチファクト（動きによる画像のぶれ）を生じるため、高心拍の状態で撮影した場合は、冠動脈描出能が低下することが課題になっています。ガイドラインでは冠動脈CT時の心拍動によるモーションアーチファクトを防ぐ目的でβ遮断薬を投与することが明記されていて、当院においても循環器内科の患者様に限り、医師の指示により経口β遮断薬を使用しています。

これまで冠動脈CT時の心拍数調節に関する効能・効果を有する薬剤はありませんでしたが、2011年7月、「コアベータ静注用12.5mg」が「コンピューター断層撮影による冠動脈造影における高心拍数時の冠動脈描出能の改善」の効能・効果で製造販売承認を取得しました。当院においては、平成24年3月7日に開催された薬事審議委員会にて承認され採用が決められました。

「コアベータ静注用12.5mg」の特性は、投与直後から速やかに心拍数減少作用を示し、投与後30分には消失する即効性及び調節性に優れた薬剤であること、心拍数減少作用により冠動脈CT時の冠動脈描出能を改善することが確認されています。

2. 使用方法・使用量

禁忌などの問題がなければ、心拍数毎分70以上かつ収縮時血圧100mmHg以上のときコアベータを使用します。

コアベータ1A（12.5mg）を生食10mlに溶解し、体重別投与量（下図）を参考に1分間で静注します。

体 重	使用量	体 重	使用量	体 重	使用量	体 重	使用量
30kg	3.0ml	50kg	5.0ml	70kg	7.0ml	90kg	9.0ml
40kg	4.0ml	60kg	6.0ml	80kg	8.0ml	100kg	10.0ml

3. 検査の流れ

検査室入室後、ミオコールスプレー使用後5分後、コアベータを1分間で静注します。コアベータ静注終了後から4～7分後に冠動脈CT撮影します。

検査室入室時、ミオコールスプレー使用前、コアベータ使用前、撮影前、撮影終了後に、血圧と心拍数を確認します。

心拍数毎分70未満、収縮時血圧100mmHg未満の時はコアベータを使用しません。

4. コアベータ使用による予想される変化

血圧は平均10mmHg以内の低下、心拍数は平均10～20／分低下が予想されます。（半減期4分の薬剤なので、血圧が下がったり、徐脈となったり、副作用が出現しても早く回復します。）

5. 急変時の対応

検査中、急変時には当院循環器内科医師が対応します。

6. 冠動脈CTオーダーするにあたって

下記の禁忌をご参照いただき、「コアベータ静注用12.5mg」を使用しない場合のみ、CT依頼申込書に「コアベータは使用しない」とご記入して下さい。

※ご記入がない場合は、「心拍数毎分70以上かつ収縮時血圧100mmHg以上のときコアベータを使用」に従い、コアベータを使用しますのでご了承下さい。

7. 禁忌（添付文書より）

- （1）心原性ショックの患者
- （2）糖尿病性ケトアシドーシス、代謝性アシドーシスのある患者
- （3）房室ブロック（Ⅱ度以上）、洞不全症候群など徐脈性不整脈患者
- （4）肺高血圧症による右心不全のある患者
- （5）うつ血性心不全のある患者
- （6）未治療の褐色細胞種の患者
- （7）本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

作成日：平成24年3月29日 部署名：放射線科部 責任者：有 本 卓 郎

平成24年4月2日からの検査予約分から実施しています。

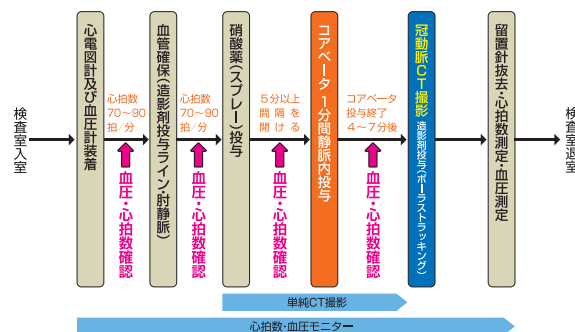


図1：冠動脈CT撮影の手順

外 来 ご 案 内

診 療 科 目

- ★内科・総合診療科
 - ★消化器内科
 - ★循環器内科
 - 神経精神科
 - 小児科
 - 外科
 - ★整形外科
 - 形成外科
 - 脳神経外科
 - 皮膚科
 - 泌尿器科
 - 産婦人科
 - 眼科
 - 頭頸部・耳鼻咽喉科
 - 放射線科
 - 麻酔科
 - ペインクリニック・心療内科
- ★：紹介状が必要です
＊緊急時は内科・総合診療科、消化器内科、循環器内科、整形外科を含め、全ての科で対応させていただきます。

休 診

- 土曜日
- 日曜日
- 祝日
- 12月29日～1月3日
- 5月1日（日本赤十字社創立記念日）

事前予約について

紹介状を持参される患者様につきましては、患者様の受診希望日時を事前にFAXにて予約診療のお申込みいただきますと、診察当日、待ち時間が短縮されます。ぜひご利用願います。
（但し、急患の場合は各科へ直接連絡願います。）

診 察 カ ー ド

診察券は全科共通で使用いたします。
ご来院時に必ずお持ち下さい。

保 険 証

健康保険証はご来院時に確認させていただいております。特に、更新・変更の際は必ずご提出下さい。

北見赤十字病院 診療一覧表

※都合により担当医が変更になる場合があります。

平成24年4月23日現在

診 療 科		月	火	水	木	金
内 科・ 総合診療科	午 前	田中 吉田（知） 森 大野	田中 佐藤 森 医療センター #北大 2内・膠原病	田中 佐藤 吉田（茂） 永嶋	吉田（知） 森 大野	佐藤 永嶋 医療センター
		#北大 2内・膠原病 #北大 2内・膠原病 検査・予約診療・急患診療のみ				
	午 後	#リウマチ・膠原病の地域医療連携室予約は北大 2内・膠原病担当医の月・火になります。				
消化器内科	午 前	柳原 上林 水島	江平 佐藤 久保	岩永 柳原 一箭	江平 上林 水島	岩永 佐藤 久保 一箭
		検査・予約診療・急患診療のみ				
循環器内科	午 前	及川 松谷	斉藤 白川 小野	斉藤 松谷	斉藤 白川	及川 小野
		検査				
神経精神科	午 前	新 患 （再来） 再 来	藪本 佐久川	嶋田 佐久川/伊藤	佐久川 嶋田/藪本/伊藤	嶋田 藪本 嶋田
		予約・急患診療のみ				
小 児 科	午 前	三河 戸板	菅沼 三河	戸板 三河	三河 菅沼	菅沼 戸板
		伊藤 阿部 戸板	乳児検診（阿部・山口） 三河 河野	三河 伊藤 菅沼	予防接種（河野・藤本） 1ヶ月健診（河野・藤本）	三河 戸板 菅沼
外 科	午 前	新 患 再 来 専門外来	池田 菊地	山口 松永	菊地／宮坂 須永	松永 池田 新関 山口
		専門外来	宮坂・菊地	本谷・松永	須永 新関	呼吸器外科・新関 新関・山口
整 形 外 科	午 前	菅原 #森末 松倉 （手術）	#菅原 中川 松盛 松倉 手術	#中川 松盛 松倉 手術	#森末 松盛 松倉 手術	#菅原 森末 中川 （手術）
		午後	予約検査・手術	3ヶ月児股関節健診・手術	手術	手術
形 成 外 科	午 前	藤井 （予約のみ）	手術	江平まり子 （予約のみ）	藤井 江平まり子	手術
		午後	藤井 江平まり子	手術	手術 予約検査	レーザー外来 しみ外来 予約外来
脳神経外科	午 前	急患診療のみ	鈴木	鈴木	急患診療のみ	高杉
		午後	急患診療のみ			
皮 膚 科	午 前	高橋 岩崎	高橋 岩崎	高橋 岩崎	高橋 岩崎	高橋 岩崎
		午後	高橋 岩崎 手術／ フットケア外来	高橋 岩崎	高橋 岩崎	手術
泌 尿 器 科	午 前	藤井 佐々木 出張医	藤井 佐々木	藤井 佐々木	藤井 佐々木	藤井 佐々木
		午後	検査 水沼 幅田	手術 水沼 西澤	手術 倉橋 東	手術 手術 幅田
産 婦 人 科	午 前	婦人科 産科	西澤・倉橋	東	水沼 倉橋	幅田
		午後	婦人科 産科	手術 担当医 担当医	手術 担当医 担当医	手術 手術 手術
眼 科	午 前	岩崎 西 阿部 予約検査（菅原）	菅原 西 岩崎	菅原 西 岩崎	菅原 西 岩崎	菅原 西 阿部
		午後	阿部 西 予約検査（菅原） 手術	予約検査 手術	予約検査 手術	手術 岩崎 西 阿部 予約検査・手術
頭 頸 部 ・ 耳鼻咽喉科	午 前	金井 和田 森合	和田 吉田 森合	金井 吉田 森合	手術	手術 金井 和田 吉田
		午後	予約診療	手術	手術	手術
放 射 線 科	午 前	有本	有本	有本	有本	有本
		午後	急患診療のみ			
ペインクリニック 心 療 内 科	午 前	ペインクリニック	ペインクリニック	心療内科	ペインクリニック	心療内科・ペイン（予約）
		午後	ペインクリニック	ペインクリニック	心療内科（隔週休診）	ペインクリニック
麻 酔 科	午前（術前診察）	荒川	高桑	佐藤	川島	赤塚

へき地医療拠点病院としての事業（巡回健康相談）

当院は、へき地医療拠点病院の指定を受け、無医地区等の指定地区に対して訪問診療などを過去に実施しておりましたが、平成19年度以降、事業が中断しておりました。国の第11次へき地医療計画策定指針を踏まえ北海道へき地保健医療計画が平成23年度に示されており、当院としても、へき地医療拠点病院としての役割を果たすべく、平成24年度より指定地区の要望を聞きながら事業を再開していきたいと考えております。指定地区は北網圏域内では、北見市（日吉）、大空町（山園・福富・明生）、津別町（恩根）となっています。

現在、地区の担当保健師等との相談の中では、高齢者を対象にした内科医師による生活習慣病の講話と個別相談、小・中学校での助産師による性教育、精神障がい当事者サークルや家族会を対象とした精神科医・精神保健福祉士による講話等が上がっています。

今年度は、事業を進めながら皆さんの要望をさらにお聞きしたいと考えておりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

北見赤十字病院 地域医療連携室

受付時間：月曜日～金曜日 午前8：30～午後5：00迄
TEL0120-018-299 FAX0120-018-599

ご意見、ご要望がございましたら、地域医療連携室までお願いいたします。 E-mail:renkei@kitami.jrc.or.jp